

6 - 1 九州地方 G.D.P. 高精度トラバース測量結果

G. D. P. Traverse Survey of High Precision in Kyushu District

国土地理院 測地部
Geodetic Division, Geographical
Survey Institute

1973年3月、九州地方のG. D. P. 高精度トラバース測量が終了したので、その結果について報告する。

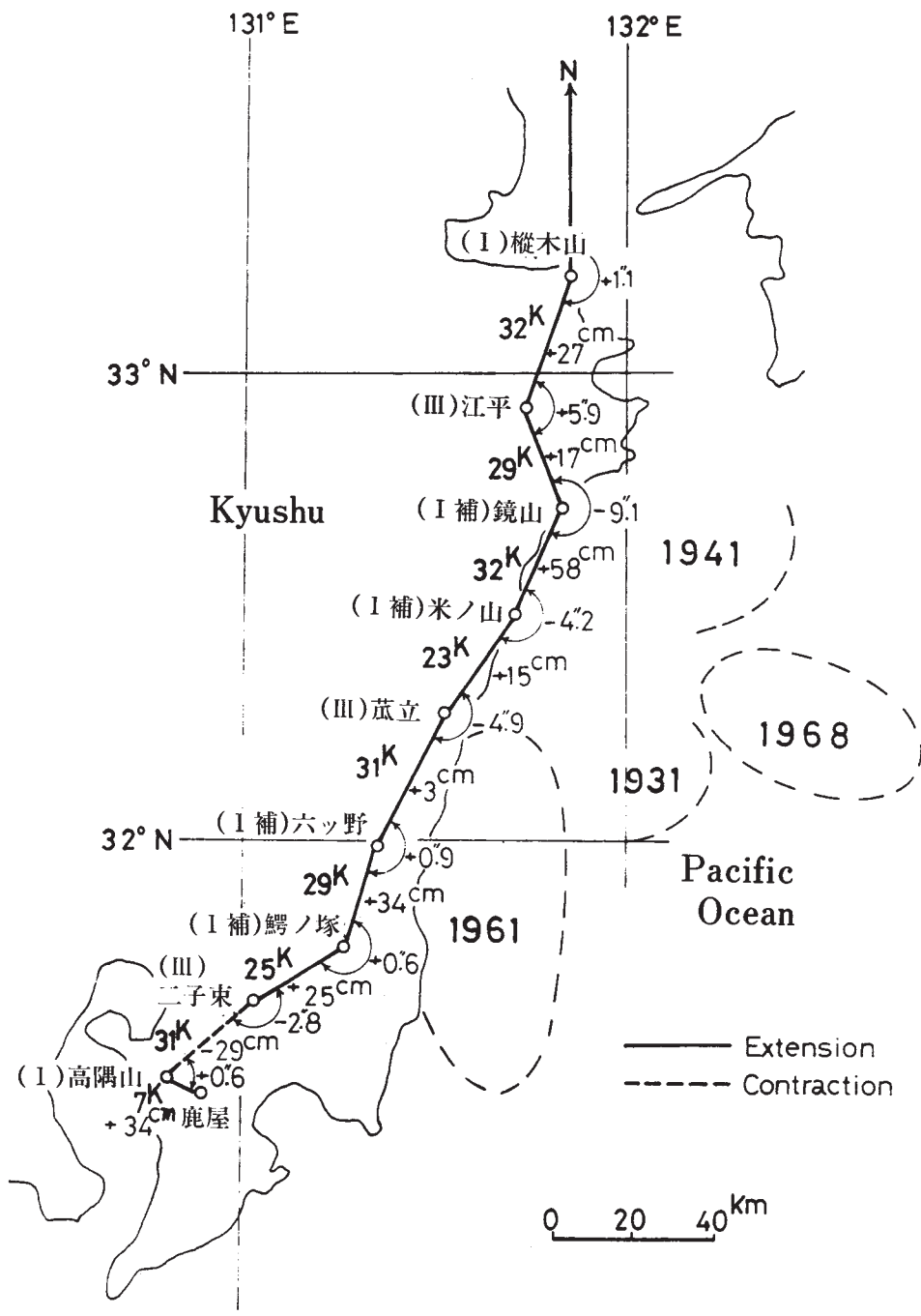
第1図に、トラバース路線の位置およびそれぞれの三角点間の距離の変化と各夾角の変化を示す。旧三角測量の時期は1899年であり、新測定は1973年である。二子東・高隅山間の辺長を除いてすべて各辺とも伸長である。

図には羽鳥¹⁾による日向灘の地震津波の波源域をも記入してある。図に示した4個の津波の初動はすべてupであり、海底の地殻変動は平均20cm程度、東側沈下、西側隆起である。これらの地殻変動の影響は今回の測定結果にあらわれているようにもみうけられる。

ただし、各辺の辺長がすべて伸長というのは、旧三角測量の辺長スケールに問題があるかも知れない。また二子東・高隅山の縮小は大正3年の桜島噴火の影響をうけていると考えられる。

参 考 文 献

- 1) Hatori, T., A study of the wave sources of the Hiuganada Tsunamis,
Bull.Earthq.Res.Inst., 47, 53 - 63, 1969



第1図 九州地方の辺長の伸縮および角度の変化
 (G. D. P. 高精度トラバース測量, 1973) - (3等三角測量, 1899)
 羽鳥 (1969) による津波の波源域も示す

Fig. 1 Changes of length and angle in Kyushu District. Tsunami source areas after T. Hatori (1969) are also shown.